

広丘地区

日付：令和5年7月19日（水）

場所：北部交流センター

会場：28名 オンライン：5名

出席者：市長 企画政策部長 企画課長 都市計画課長 企画係長 計画係長 企画係2名 デジタル戦略課1名 計画係1名

グループごとの発言

■ グループ①

- ・ 弱みについては「道路自体が狭いんじゃないか」という話が出た。特に小学校、中学校がある中で通学路ができていない。グリーンベルトを作っても、それは安全性に欠けるだろうというところの一つ。
それから、コロナによって若い人と高齢者の間の行事に対する考え方にはっきりと違いが出てきて、伝統行事が失われていくんじゃないかと心配している。行事を中止していたわずか3、4年で行事開催の話をする。「それをする意味はなんだ」、「そんなことやっていいのかわかるのか」という話が若い人が出てくる。これは非常に怖いことで、地域の伝統行事が消えてしまう。特に人口が増えているこの地区は若い人の意見にこのような考え方が出てしまっている。
- ・ 強みについては、文化、あるいは経済に関してのハード面が進んでいいんじゃないかというところで、交通の利便性が良い。
- ・ 課題については、農地の荒廃化が進んでいて、休耕田、あるいは休耕農地が広がっているためその活用を考えていきたい。
- ・ 目標についての一つの提案として、今日のようなタウンミーティングは我々高齢者だけでなく、中学生、小学生は無理としても高校生が集まることのできる時間帯、あるいは子育て中の女性に集まってもらいたいのので、子育て支援センターがそこにあるが市長からケーキでも出してもらいながら、コーヒー飲みながらやるような場もいいんじゃないかという案があった。
- ・ 道路に関しては、都市計画道路広丘西通線が止まっている状態だが、これに関しては予算、市の財政の問題もありなかなか一朝一夕にはできるものではないが、代替の市道整備もぜひ進めてほしい。
- ・ これはもう何十年後かの目標にさせてもらいたいが、JR広丘駅で地域が分断されている。これを高架線にすることによって交流が深まって、まちづくりが進むんじゃないか。JRがとんでもない金額を請求してきてなかなか難しいと思うが、そんな大きな目標を持ちたいという話し合いだった。

■ グループ②

- ・ グループの4人が偶然原新田地区だったので、話が原新田地区が中心になるかと思う。まずは、長年の懸案であった太田井堰の水路工事が始まったことに対して、御礼を申し上げたい。
- ・ 先ほど話があったが、広丘地区は平均年齢が確かに若いと思う。平均すると若いと思うが、それはどちらかというとエブソンさんの若い人たちが入っているということであって、他の地区は昔からの住民が多くて、その人たちは高齢化するばかりで、その子どもたちがなかなか戻って来ない。最終的に空き家になってしまうところが相当多く出ているかと思う。平均で言うと平均年齢が若いという話はそうだが、実際は裏面に広丘地区でも高齢者が相当多くなっているという事実はあると思う。
- ・ 新体育館ができたがそこに対してアクセスは以前からの課題になっていた。広丘西通線の話はだいぶ年月が経っているが進めてほしい。
- ・ これからは、若い人たちのことを注視して考えなければならない。若い人たちの遊びの場、人の交流の場のようなものが広丘地区にもっとあってもいいのではないかな。
- ・ 広丘地区はどの地区を見ても道路が非常に狭く、通行に苦慮している。ましてや小学校、中学校があるので子どもたちにも危険である。これは何とかならないかと考えているが、非常に難しい問題かなとも思っている。
- ・ これも前々からの課題だが、住所表示つまり行政区と住所が違うところがあって、特に原新田になると、原新田の中に従来の原新田と、野村と堅石と吉田が入っているというようなところがある。何とか新住所表示ができないか。

■ グループ③

- ・ 全体的なところとして、広丘地区の骨子で取り上げられてない課題が多いということが1点目。課題や目標について書かれているが若干具体性を欠いており、つまりどういうことなのか若干イメージしにくいところが2点目。
- ・ 弱みについて取り上げられていないのが使用されてない家や畑が多いところ。地区の課題についてこれまで挙がっていないものだと、一人暮らしのご家庭が多いのではないかと、生活保護を受けている方などいろいろな実情があると思うが、そのような方が行政に参画できるような、そういうボランティア的な活動を市からいろいろ仕掛けていくとか、耳を傾けるような場所を作るとか、そういうことがあった方がいいと思う。
- ・ 運転免許証を返納された方が移動するときの交通網が若干弱いんじゃないかと思う。これからの一とが広丘地区に広がってくると新聞の報道にあったので、それができると少し便利になってくるのかなと期待している。情報展開をお願いしたい。
- ・ 常会の行事に参加しないという意見が最初のグループからあったが、私も同じような考えでいる。コミュニケーションや防災上、これは今後課題になってくるのではないか。また、常会行事に参加しない、参加したくない、そういうのは不要だという意見が多く、常会の役員になりたがらないという意見もあった。これをどうやって解決していくか本当真剣に考えていくべきで、常会のことは常会でやっていくとか、区のことは区でやっていくと、動機づけ、インセンティブが若干少ない。
- ・ 冒頭に行った課題について具体性を欠くということでは、課題の一番左のところに「利便性向上につながる機能集積が必要」と書いてあるが、つまりどういうことなのかというのが分かりにくい。また、そのすぐ下の「求心力を高めるまちづくりを進める」というところも目標として分かりづらいと思う。つまり何をすればいいのかなというところで考えた。
- ・ 幸福度を指標にするという話があったが、個人的にはこの幸福度をどんなタイミングで、どのように計測されるのかを具体的にした方がいいと感じた。1年に1回ではさすがに回数が少ないので何回かに分けて取るなど、市民全体にアンケートとかやり方も含めていただいた意見をきちんとフィードバックしていくということが必要かと思った。

■ グループ④

- ・ 他のチームでも出ていた区の加入者が減少している件について、区への加入は任意だが加入者が減っていることが一つ心配なのと同時に、寄付金等の集金が半強制的になっていて、区の役員さんが大変苦勞されている。思い切ってこれはやめるべき。
- ・ 今日ここに来て、広丘地区のことについて話し合うということだが、地区だけの事を常々考えていない。もっと広く、塩尻市、あるいは松本圏域もっと言えば県民200万人の中の1人として、あるいはこの地域として、私達はどうかあるべきなのか、何をすべきなのかという視点から発想を変えて、いろいろ政策を講じなきゃいけないのではないか。
- ・ 資料4ページでは、どちらかというハード面的な内容が羅列されているが、もっとソフト的な面、人たる面、つながりの面、連携の面、そういった面でどうあるべきかというところを考えなければいけないのではないか。
- ・ 若いお母さんから、大門から移って2年目だが広丘はいいところだと思っている。いろいろ方策が上がっているが、当地区、あるいは当市ならではの子育ての方向性、方策をもう少し知りたい。広丘にいればこんなことがいいよね、ということをもっと知りたい。
- ・ 人口減少と言うがこれは全国各地での現象であって、人口の奪い合いみたいなことをやめましょう。
- ・ 商工会については、2代目3代目世代の人たちがこの地域には非常に多く、よくやっていただいている。これは地域の宝だと、ここを大事にしていかなければならない。ネット通販云々と言われるが、それ以前に、face to faceで人とつながれる商工業という特色があるまちを大事にしたい。
- ・ 子どもたちの学びについては、この地域には非常に特徴がある広丘小学校や歴史のあるまちで短歌館もある。そういった歴史のあるまちを子どもたちとともに、大人のサポート等を多くいただきながらさらに深めていきたい。
- ・ 広丘の人口は説明があったように減ってはいない。これをどう受け継いでいけるのか、さらに保持していけるのか、それを他地域との連携の中でうまくやっていければいい。一言で言うと、「広丘大好き、広丘好きな人」

■ グループ⑤

- ・ 我々のグループは、国道の東と西とちょうど2人ずつのグループで、全体的には市街化区域と市街化調整区域のバランスが重要なんだろうなとまとまった。
- ・ 市街化区域については、遅れている広丘西通線と東通線の着実な実施を望みたい中で、都市計画道路が整備されれば市街化区域も新たに設定できて、アウトレットモールなどの商業施設の誘致にもつながるのではないかな。そうすると今は、人の流れが国道東側が多い状況だが、西側への誘導もできるのではないかな。
- ・ 我々のグループはほぼ農業後継者で、農業を維持していく、農地を維持していくという部分で、第六次総合計画の農業の取り組みの中にソフト面的なものを取り込んで、人材育成や、個人事業者が大変になってくる時代でもあるので、法人による経営みたいなものも検討していったらどうか。

■ グループ⑥

- ・ 最近重い障がいを持った障がい児の方が増えている。塩尻市には、重い障がいを持った方の居場所がなく、松本市や周辺の対応できる施設にお父さんお母さんが送り迎えをしている状況がある。今はそれができているが将来的にどうなるか非常に不安を持っている方がおられる。交通便利性と生活利便性を備えた広丘駅周辺で、重い障がいを持った方々の居場所を誘致できないか。ぜひ検討をお願いしたい。
- ・ 広丘駅が東西を分離しているという問題を感じていて、JRと国道が隣り合っていて、特に徒歩で買い物等に行かれる方で広丘駅の西口前の地域の方々が困難を感じている。もう少し東西のバランスがとれた形での商業地圏域ができないか。

■ グループ⑦

- ・ 強みは、新しい人が比較的入りやすい地域ではないかというところ。また、土地の価値が上がっているということは、売り買いができるということでもあるので強みでもあるかなと思う。
- ・ 弱みに関しては、広丘駅南側の原新田地区になるが、宅地開発、区画整理が入っていないということもあり、狭隘道路が多く、緊急車両が入らないところがある。また、駅前広場や駅前の東西の部分で、原新田交差点から川に向かうあたりでは通勤時間帯に渋滞が発生する。郷原地区だと、広丘南保育園の周辺の道路が非常に狭い。広丘地域は比較的災害が少ないため、全体として防災意識の希薄化も感じている。
- ・ 課題については県道郷原街道のところ、横断歩道に気が付かない車両があり、意外と事故が多い。信号がないことも原因の一つだと思う。また、県道郷原街道の歩道は段々になっていて、何とかならないか。広丘西通線が整備されることでこうした諸々の事情が解消されていくのかもしれない。